

国道107号建設事業に係る本荘城跡発掘調査に伴う
遺構計測業務委託仕様書

1 業務目的

この業務は、本荘城跡発掘調査に係る遺構計測及び図化を行うことを目的とする。

2 業務実施場所

本荘城跡：秋田県由利本荘市尾崎（第1図）

3 業務対象面積

約150m²（第2図）

4 業務委託期間

契約を締結した日～令和7年3月14日（金）

遺構等計測期間：令和6年6月4日（火）～7月25日（木）

5 業務概要

地形測量及び図化作業

（1）測量及び編集

①基準点測量（第2図）

②方眼設定（図上）・・・・・・・・・・・・・・・・・・令和5年度に設定したものを利用。

③遺構計測作業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・150m²

④調査範囲地形測量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・150m²

⑤整理支援作業

（2）各図等作成 ※令和5年度の実測図面と合成する。

①遺構平面図作成

②遺構配置図作成

③コンター図作成（調査範囲）

④遺構平・断面図合成図作製

6 業務内容

遺跡調査において検出される遺構・遺物等を、自動追尾機能を有したトータルステーション、電子平板を併用しデジタル計測する。遺構実測や写真計測等の方法により、標高を含む3次元座標値（世界測地系国家座標第X系）を取得の上、遺構図化専用のCADシステム及びデータ処理ソフトを使用しデータの解析・処理・編集加工を経て作図すること。

（1）基準点測量

調査地周辺の既設基準点から、調査地内に基準点を設置する。公共測量作業規程の4級と同等以上の精

度で実施する。

(2) 方眼設定 (方眼鋺打設)

図上に令和5年度と同一の方眼 (第3図) を設定し、必要に応じ方眼の交点にコノエ鋺を設置する (最大20か所)。

原点MA50を世界測地系X系 $X=-68120.000$ $Y=-67720.000$ に置き、MA50を通る座標の南北ラインを南北基線、これに直交するラインを東西基線とする。この南北基線及び東西基線に沿って $4\text{m} \times 4\text{m}$ の方眼を組む。MA50を基準として、南北線は東から西に向かって昇順となるアルファベット2文字、東西線は南から北に向かって昇順となる2～3桁の数字で表し、交点は南北線と東西線の組み合わせで呼称する。ただし、アルファベットはA～Tまでの20文字の繰り返しとする。

コノエ鋺を設置する際は、コノエダブルで交点の呼称を表示すること。

(3) 遺構計測

①本業務にあたり計測技術者1名を週4日程度派遣し、遺構図面作成のための計測図面作成を行うものとする。

②表現内容は、遺構の上端、下端、遺物の出土状況、位置等である。

③遺構に関する細部の表現等については発注者が別途指示するものとする。

④測量作業と並行し、整理作業を行うものとする。繁忙時期においては、状況に合わせて計測作業を優先するものとする。

⑤遺構及び遺物の検出状況によって、締結した委託内容を超えてしまう恐れがある場合、発注者と受注者で協議を行い、作業内容の変更、または委託内容の変更を発注者が指示するものとする。

A 計測対象

- a 調査区全体の遺構確認面の地形 (10cmピッチの等高線で表す)
- b 調査区のエレベーション
- c 調査区の土層断面とエレベーションの平面位置
- d 調査区全域の遺構確認平面
- e 遺構のエレベーション
- f 遺構内出土遺物平面
- g 遺構内出土遺物垂直分布
- h 遺構の完掘平面と、土層断面・エレベーションの平面位置
- i 遺構外出土遺物平面・垂直分布

B 現場での校正

計測後速やかに、計測対象の呼称を表示した図を出力して提出し、発注者の校正をうけること。

(4) 調査範囲地形測量

精査終了後に、いわゆる地山面で地形測量を行う。

(5) 整理支援作業

平面図、断面図等、及び発注者が提供する令和5年度の実測図面の合成を行う。

(6) 図面作成

A 作成する図面

- a グリッド設定図 (S=1/1000 A4用紙サイズ)
- b 遺構配置図 (S=1/50 セクションポイント有り・無し A4用紙サイズ)
- c 遺構個別図 (S=1/20)
- d 遺構個別第2原図 (S=1/20) ※補足資料参照
- e コンター図 (S=1/50 A4用紙サイズ)

B その他

遺構の規模によって縮尺を調整する場合がある。なお、遺構土層断面図の原図のコピーもしくはスキャンデータ、図面の調整内容は、発注者から受注者に受け渡す。作成した図面は発注者に提出し、校正を受けてから成果品とする。

7 成果品

本業務の成果品は以下のとおりとする。

- ①測量報告書2部(図面と各種計測値一覧表を含む。)
- ②デジタルデータ1式(CD-RかDVD-R又はUSBストレージにて納入)
 - A 図面:DXFファイルとAIファイル
対応OSはWindows10以上とする。DXFファイルはJW-CAD、AIファイルはアドビ・イラストレーター2020以上で閲覧・編集が可能であること、かつアドビリーダーで閲覧可能であること。
 - B 各種計測一覧表:CSVファイル
- ③計測対象の写真1式(CD-RかDVD-R又はUSBストレージ及び印刷物を納入)
図面・座標値と遺構の照合用。対象の形状と遺構番号・遺物番号等の呼称が分かるように撮り、JPEGファイル(サイズ:500~2MB)と中性紙に印刷したものを提出すること。

8 業務に必要な資格等について

計測技術者は測量技師とする。なお、通常の地形測量とは異なる城館跡の遺構計測であるため、遺跡特有の遺構についての知識を有し測量及び図化に反映できる技術・経験と埋蔵文化財分野での実績を有する者とする。

9 納入場所

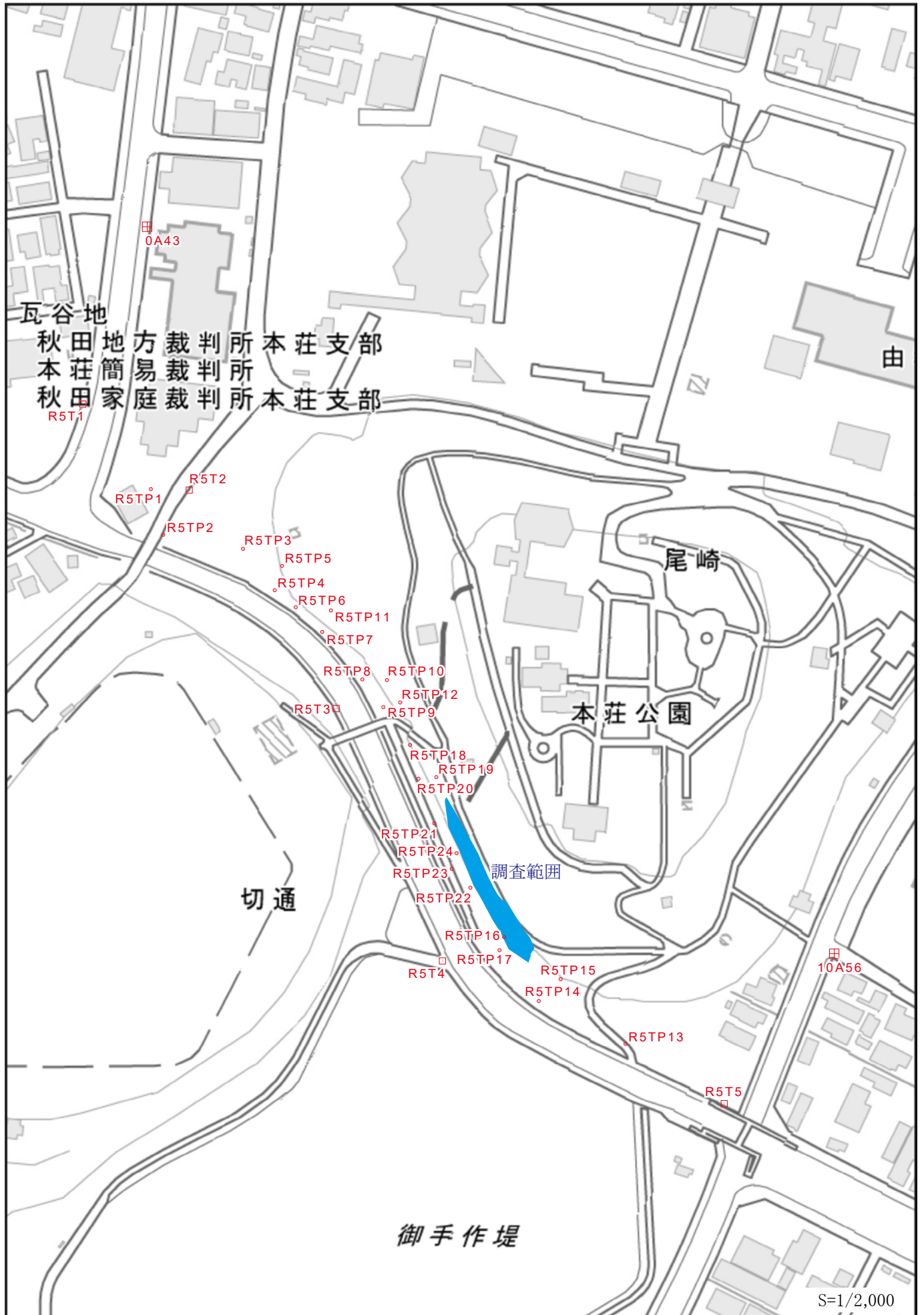
秋田県埋蔵文化財センター中央調査チーム
所在地:秋田県秋田市新屋栗田町11-1
電話番号:018-893-3901

10 その他

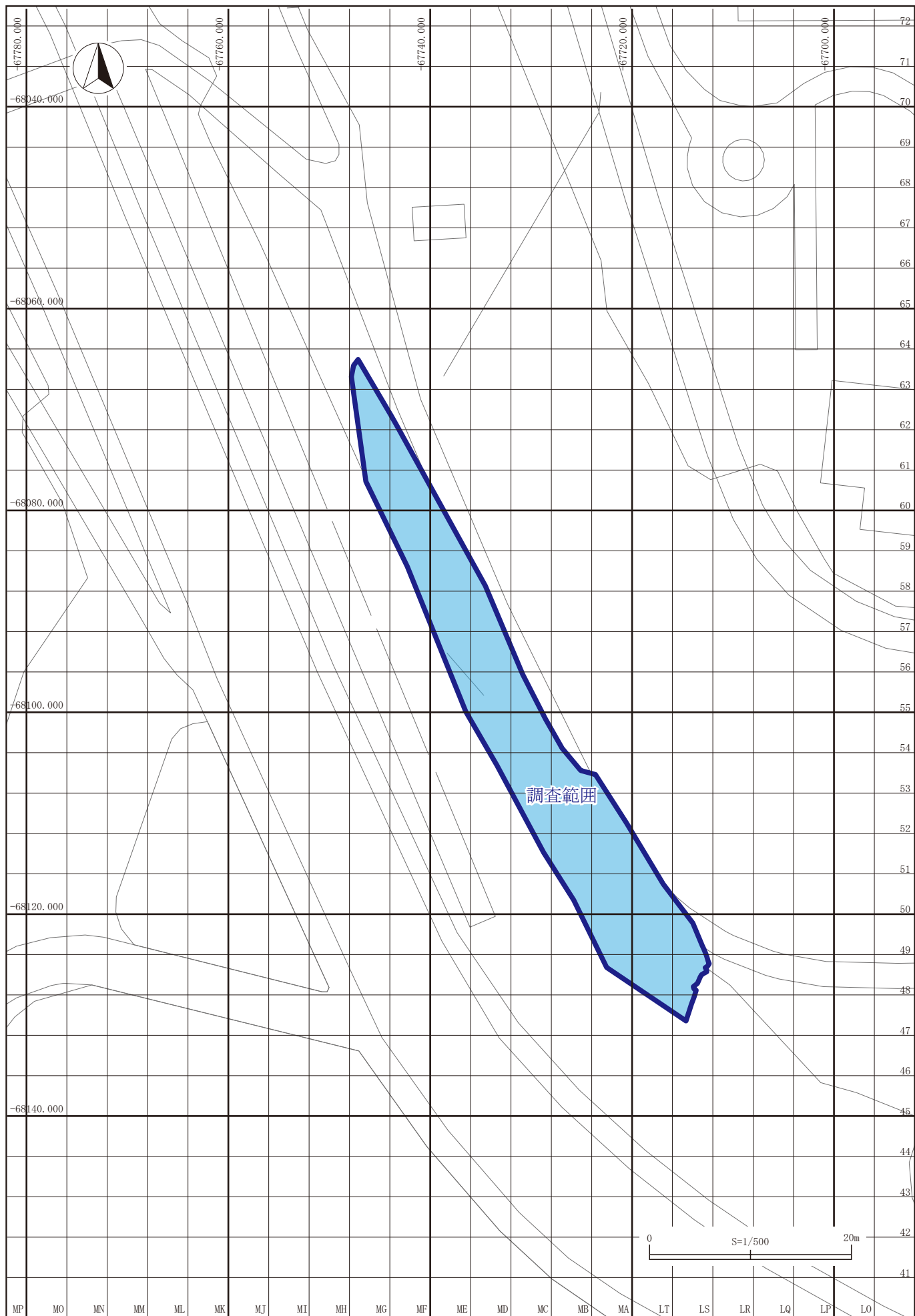
- ①遺跡までの往復及び成果品等の搬送に係る費用は受注者負担とする。
- ②対象範囲は貴重な遺跡・公園内であることを十分認識したうえで作業を行う。
- ③この仕様書に定めがない事項又は委託業務の実施にあたり生じた疑義は、発注者と協議する。



第1図 本荘城跡位置図



第2図 基準点位置図



第3図 方眼設定図

<記号>

方位記号 直径 10mm
グリッド 線幅 0.05mm
線分 5mm
断面指示線 線幅 0.05mm
線分 5mm
間隔 2.5mm



A

B

<線種>

上端線 0.2mm
中端線 0.15mm
下端線 0.1mm

遺物輪郭線 0.15mm
遺物稜線 0.075mm

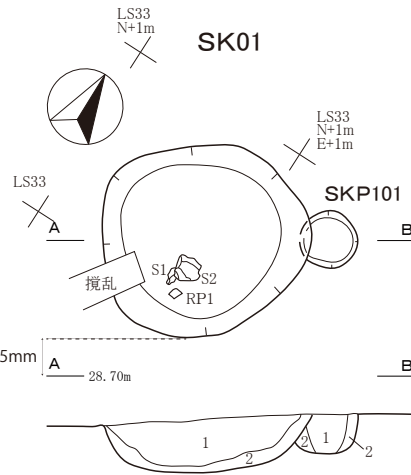
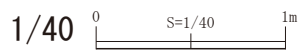
攪乱 0.05mm
推定線
隠れ線

土層境界線 0.1mm
断面下端線 0.2mm

<その他線種>

ケバ線 0.05mm
引き出し線 0.05mm

<スケール>



<文字フォント>

遺構番号 MS P ゴシック 10pt

(※SKP は 8pt)

遺物番号 MS P ゴシック 6pt

グリッド記号・断面記号・土層番号・標高 MS P 明朝 6pt

<トーン>



焼土



焼土 (被熱)



炭化物

本荘城跡発掘調査に伴う遺構計測委託業務仕様書 補足資料

- ・成果図面は、以下の凡例に則って作成すること。
- ・調査区全体断面図については、発注者と協議すること。

遺構名等	線の太さ									線種	調査区 全体平面図 (1/100) テキスト	調査区全体平面図 遺構平面図 レイヤー名等
	調査区全体平面図 (1/100)			遺構平面図 (1/20)			遺構断面図 (1/20)					
	上端	中端	下端	上端	中端	下端	断面形	検出面	分層線			
調査区輪郭	0.2	—	—	0.2	—	—	0.2	0.2	—	実線	—	調査区枠
竪穴建物跡・竪穴状遺構	0.2	0.15	0.1	0.15	0.1	0.075	0.2	0.075	—	実線	7P ゴ	上端・中端・下端 (SI上端/SI中端/SI下端等)
竪穴建物跡内付属遺構 (内部土坑・内周溝・柱穴等)	0.15	0.125	0.1	0.1	0.075	0.05	0.2	0.075	—	実線	7P 明	上端・中端・下端
柱穴・小穴	0.15	0.15	0.1	0.15	0.1	0.075	0.2	0.075	—	実線	7P 明	上端・中端・下端
土坑や溝跡等	0.2	0.15	0.1	0.2	0.1	0.075	0.2	0.075	—	実線	7P ゴ	上端・中端・下端
柱の痕跡	線は無色 内部黒塗り20%			線は無色 内部黒塗り20%			線は無色 内部黒塗り20%			実線 (無色)	—	柱痕
被熱(赤化)範囲	線は無色 内部赤塗り60%			線は無色 内部赤塗り60%			線は無色 内部赤塗り60%			実線 (無色)	—	被熱範囲
火山灰等の分布範囲	線は無色 内部色は種別毎			線は無色 内部色は種別毎			線は無色 内部色は種別毎			実線 (無色)	—	(火山灰)範囲等
上端より下端が広い 遺構の中端・下端等 (上面から目視不可の部分)	—	0.1	0.075	—	0.1	0.075	—	—	—	破線	—	—
形状欠損部など推定線	帰属レイヤーと同一			帰属レイヤーと同一			帰属レイヤーと同一			破線	—	—
ケバ	0.05			0.05			—					
トレンチ	0.05	—	—	0.05	—	—	0.05	—	—	実線	7P 明	トレンチ
攪乱	0.05	—	—	0.05	—	—	0.05	—	—	実線	7P 明	攪乱
グリッド線 (調査区全体平面図)	0.075			0.075			—			実線	—	グリッド線
グリッド線 (遺構平面図)	0.075			0.075(十字表記)			—			実線	—	グリッド線
標高線(断面図のみ)	—			—			0.075			実線	—	水系線
XYの座標値	—			—			—			—	10P ゴ	XYの座標値
グリッド名	—			—			—			—	24P ゴ	グリット名

レイヤー一覧
1 調査区枠
2 遺構上端
3 遺構中端
4 遺構下端
5 柱痕跡
6 被熱範囲
7 (火山灰等)範囲
8 トレンチ
9 攪乱
10 グリッド線
11 水系線
12 テキスト
13 その他